

■ 県外居住者の愛知県への移住希望調査

1 調査の概要

1. 調査の目的

愛知県への移住の可能性を探り、愛知県への移住を希望する人の属性や特徴を把握するとともに、移住にあたっての条件や取り組むべき課題などを把握します。

2. 調査方法

過去に愛知県内に居住したことがない、全国の男女を対象にします。

- (1) 調査対象者 : 愛知県に居住経験がない18歳～59歳までの男女
- (2) 調査方法 : NTTコミュニケーションズのdポイントクラブの会員へのWEBによるアンケート調査
- (3) 調査期間 : 令和5年5月～7月

3. 回収結果

アンケートの回収結果は以下に示すとおりです。

- 有効回収数 1,977人
- 性別 男性936人、女性1,041人

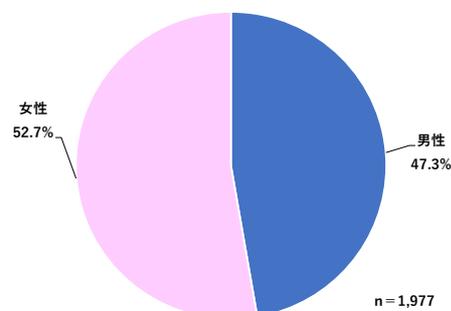
4. 本報告書における注意事項

- 図中の構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため構成比をそのまま合計しても、必ずしも合計が100%にならない場合があります。
- 表、グラフ等の見出しおよび文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものもあります。
- 回答率の母数は、原則としてその質問の回答者数であり、表、グラフ内では「n=○○」と表示しています。

2 回答者の属性

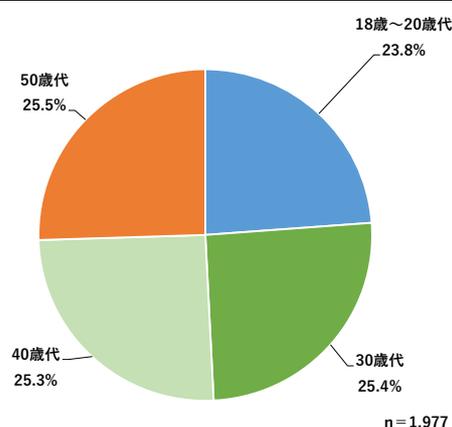
1. 回答者の性別

回答者の性別では、男性が47.3%（936人）、女性が52.7%（1,041人）となっています。



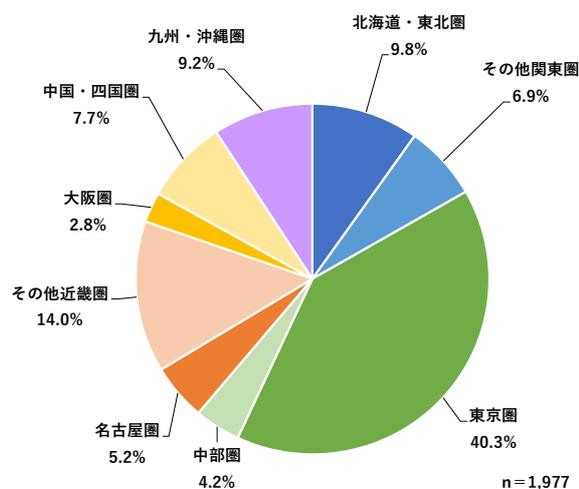
2. 回答者の年齢

回答者の年齢は、18歳～20歳代が23.8%（471人）、30歳代が25.4%（502人）、40歳代が25.3%（500人）、50歳代が25.5%（504人）となっています。



3. 回答者の居住地

回答者の居住地は、北海道・東北圏（北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島）が9.8%（194人）、その他関東圏（茨城・栃木・群馬・新潟・山梨）が6.9%（136人）、東京圏（埼玉・千葉・東京・神奈川）が40.3%（796人）、中部圏（富山・石川・福井・長野）が4.2%（83人）、名古屋圏（岐阜・静岡・三重）が5.2%（103人）、その他近畿圏（滋賀・奈良・和歌山）が14.0%（55人）、大阪圏（京都・大阪・兵庫）が2.8%（276人）、中国・四国圏（鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知）が7.7%（153人）、九州・沖縄圏（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄）が9.2%（181人）となっています。



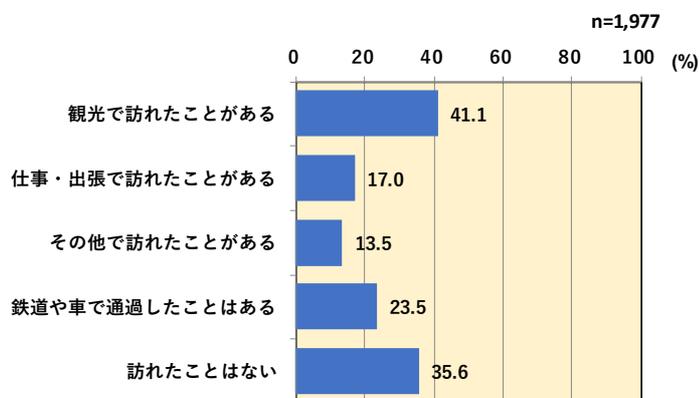
3 調査結果

1. 愛知県の訪問経験について

問1 あなたはこれまでに愛知県を訪れたことはありますか？（複数回答）

◆愛知県の訪問経験について、「観光で訪れたことがある」が41.1%を占めています。

○愛知県を訪れた経験については「観光で訪れたことがある」が41.1%、「仕事・出張で訪れたことがある」が17.0%、「その他で訪れたことがある」が13.5%、「鉄道や車で通過したことはある」が23.5%、「訪れたことはない」が35.6%などとなっています。



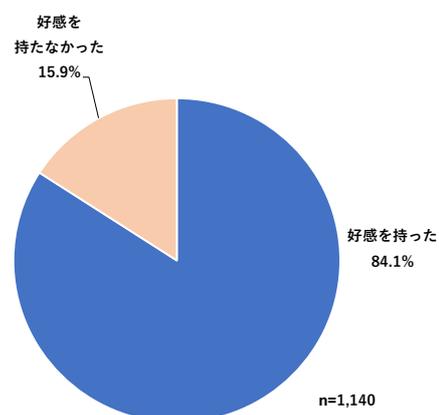
図表 1-1 愛知県の訪問経験

2. 愛知県の印象（好感）について

問2 問2で「観光で訪れたことがある」、「仕事・出張で訪れたことがある」、「その他で訪れたことがある」と回答した方へ、愛知県を訪れた際の印象をお聞きます。愛知県には好感を持ちましたか？（単数回答）

◆愛知県に好感を持っている人が84.2%を占めています。

○問1で「観光で訪れたことがある」、「仕事・出張で訪れたことがある」、「その他で訪れたことがある」に回答した1,140人のうち、愛知県に「好感を持った」が84.1%、「好感を持たなかった」が15.9%となっています。



図表 2-1 愛知県への好感の有無

3. 愛知県の各項目の好感度について

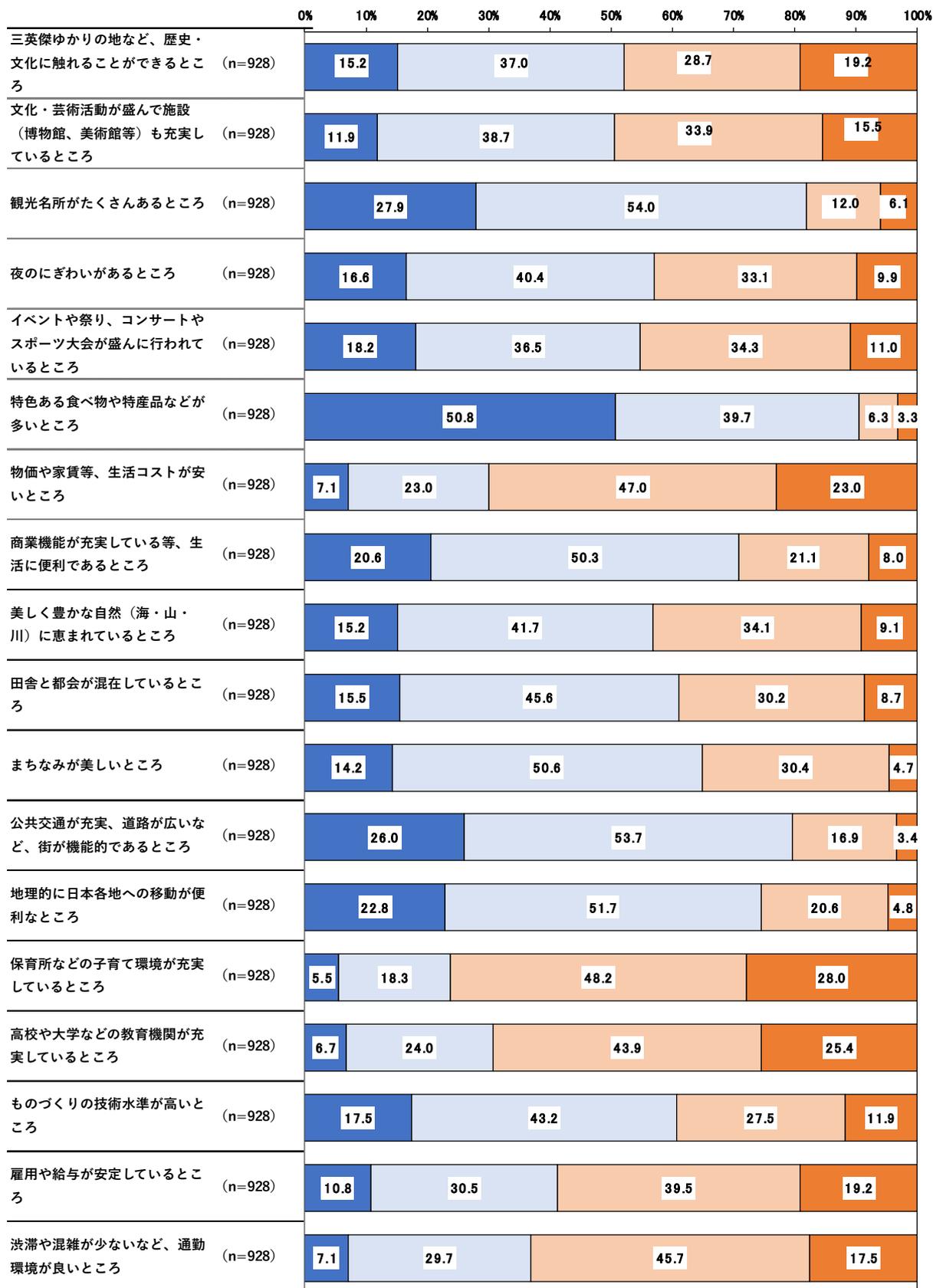
問3 問2で「1.好感を持った」と回答した方にお聞きします。

次の1～18の各項目についてどの程度好感を持ちましたか？ (単数回答)

◆好感度が高い項目は、「特色ある食べ物や特産品などが多いところ」となっています。

○問2で愛知県に「好感を持った」と回答した928人が1～18の各項目において「大変持った」と「少し持った」を合わせた割合が高い項目は、「特色ある食べ物や特産品などが多いところ」が90.5%で最も割合が高く、次いで「観光名所がたくさんあるところ」(81.9%)、「公共交通が充実、道路が広いなど、街が機能的であるところ」(79.7%)、「地理的に日本各地への移動が便利なところ」(74.5%)と続いています。

○また、「あまり持たなかった」と「全く持たなかった」を合わせた割合が高い項目は、「保育所などの子育て環境が充実しているところ」が76.2%で最も割合が高く、次いで「物価や家賃等、生活コストが安いところ」(70.0%)、「高校や大学などの教育機関が充実しているところ」(69.3%)と続いています。



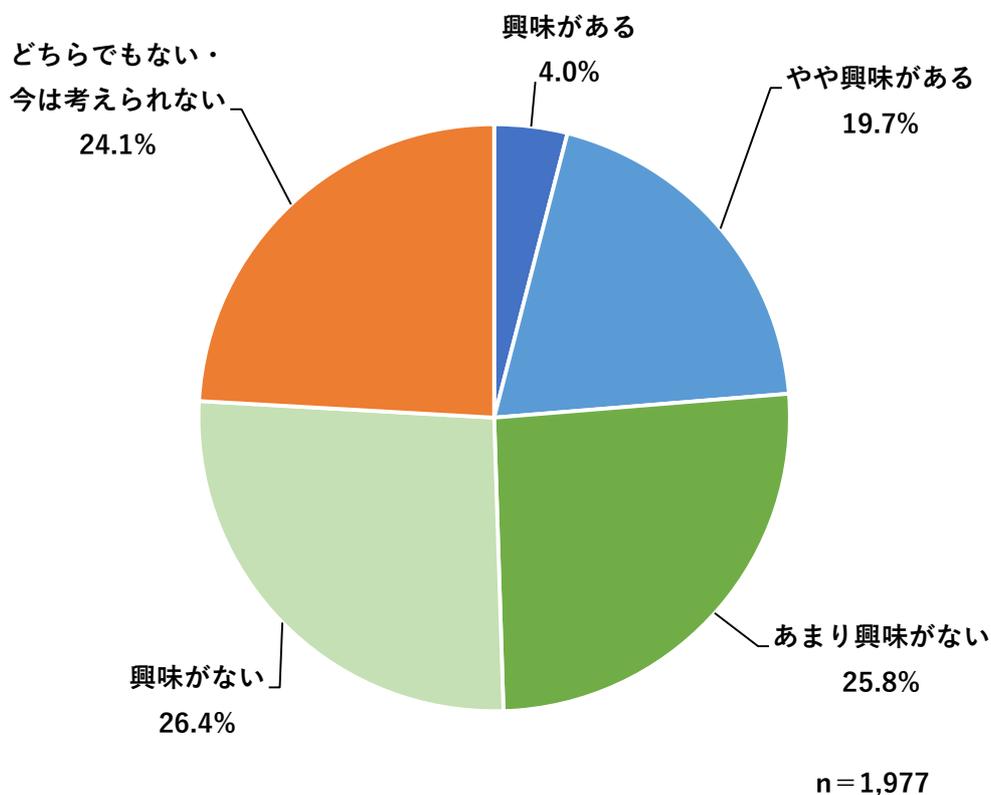
図表 3-1 各項目の好感度

4. 移住への興味について

問4 あなたは、どれくらい移住に興味がありますか？ (単数回答)

◆移住への興味については、「興味がある」と「やや興味がある」をあわせて23.7%となっています。

○移住についての興味の度合いについては、「興味がある」が4.0%、「やや興味がある」が19.7%、「あまり興味がない」が25.8%、「興味がない」が26.4%、「どちらでもない・今は考えられない」が24.1%となっており、「興味がある」と「やや興味がある」をあわせて23.7%となっています。



図表 4-1 移住への興味

5. 移住したいと思う都道府県について

問5 あなたが移住したいと思う都道府県をお聞かせください。 (複数回答)

◆1番移住したいと思う都道府県は、1位が沖縄県、愛知県は13位となっています。

○移住したいと思う都道府県については、愛知県は、「一番目に移住したい都道府県」では13位、「二番目に移住したい都道府県」では7位、「三番目に移住したい都道府県」では1位となっています。

一番目に移住したい都道府県			二番目に移住したい都道府県			三番目に移住したい都道府県		
上位20位	都道府県	人数	上位20位	都道府県	人数	上位20位	都道府県	人数
1	沖縄県	151	1	神奈川県	69	1	大阪府	43
2	東京都	142	2	北海道	68	1	神奈川県	42
3	北海道	100	3	沖縄県	60	1	愛知県	42
4	福岡県	84	3	東京都	60	4	沖縄県	40
5	神奈川県	75	5	大阪府	44	5	東京都	37
6	大阪府	48	6	千葉県	40	6	福岡県	33
7	京都府	44	7	愛知県	35	7	千葉県	32
8	千葉県	37	8	福岡県	34	8	京都府	31
9	静岡県	36	9	兵庫県	32	9	静岡県	25
9	長野県	35	10	京都府	28	9	埼玉県	25
11	埼玉県	32	10	埼玉県	28	11	北海道	24
11	兵庫県	32	12	静岡県	25	12	長野県	21
13	愛知県	24	13	長野県	23	13	兵庫県	14
14	宮城県	22	13	山梨県	23	14	宮城県	11
15	群馬県	14	15	宮城県	19	14	山梨県	11
16	広島県	13	16	広島県	12	16	広島県	10
17	山梨県	11	17	長崎県	10	16	栃木県	10
18	滋賀県	10	18	栃木県	9	16	熊本県	10
18	長崎県	10	18	熊本県	9	19	岡山県	8
20	石川県	8	18	山形県	9	19	宮崎県	8

図表 5-1 移住したいと思う都道府県

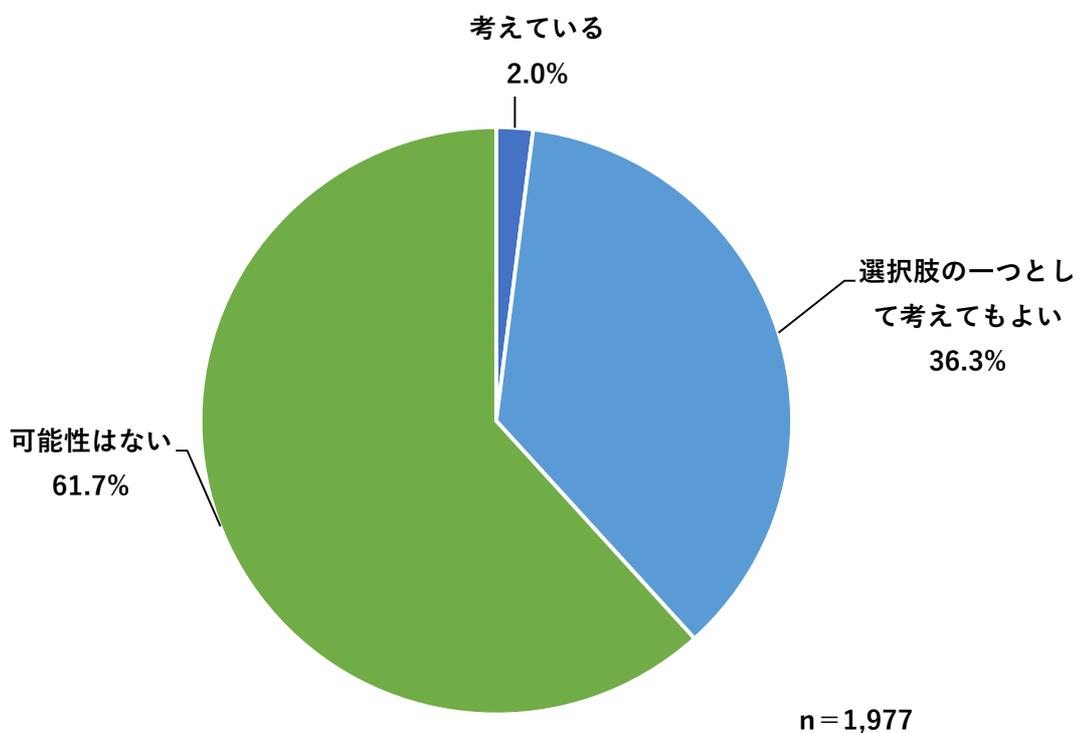
6. 愛知県への移住の可能性について

問6 全国のみなさんへ是非、愛知県に移住していただきたいと考えています。

あなたは、将来的に愛知県内を居住地として選択する可能性がありますか？（単数回答）

◆愛知県への移住意向については、移住に興味のある人が38.3%となっています。

○愛知県への移住の可能性について、「考えている」が2.0%、「選択肢の一つとして考えてもよい」が36.3%、「可能性はない」が61.7%となっています。「考えている」と「選択肢の一つとして考えてもよい」をあわせた移住に興味のある人は38.3%となっています。



図表 6-1 愛知県への移住意向

7. 愛知県へ移住したい理由について

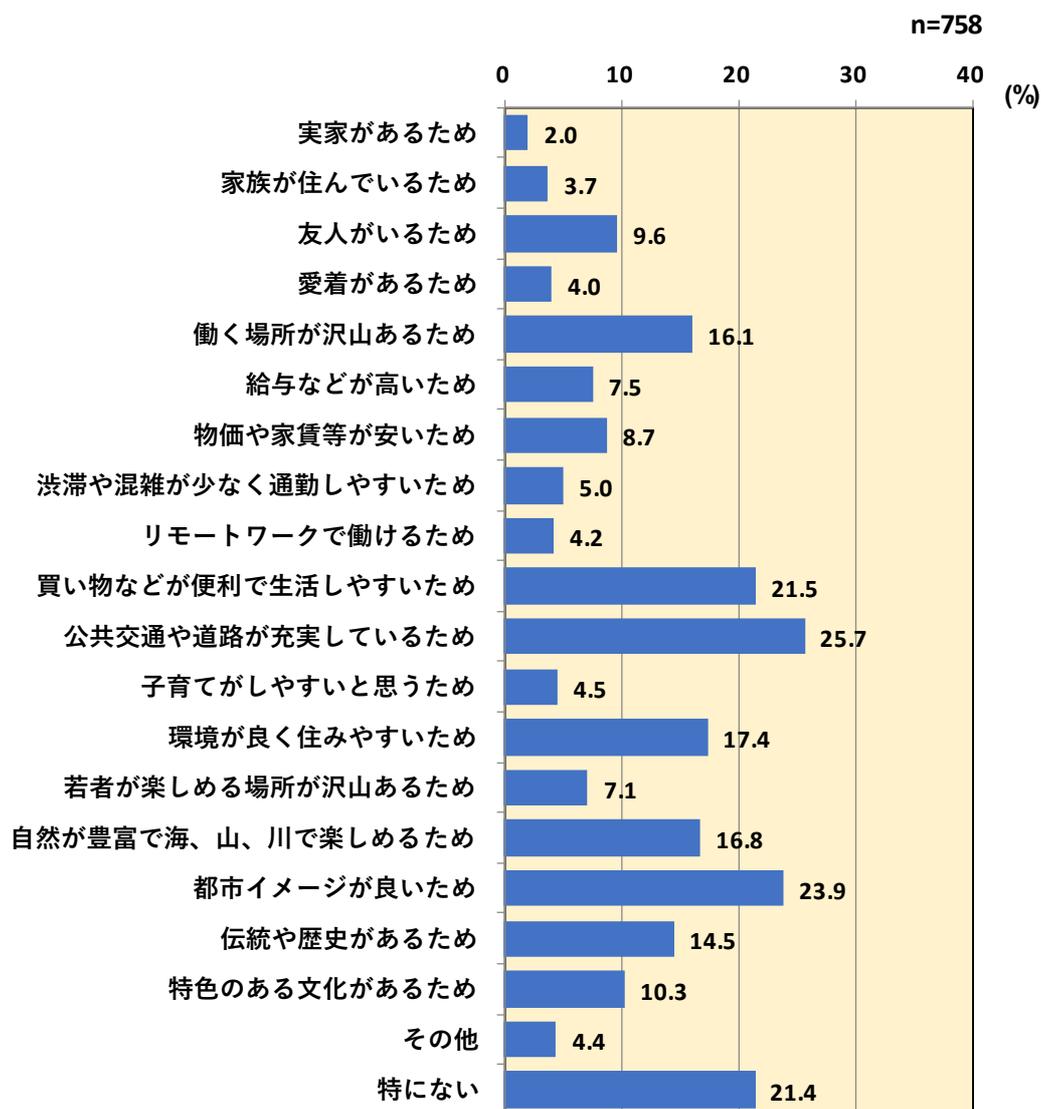
問7 問6で「考えている」、「選択肢の一つとして考えてもよい」と回答した方にお聞きします。

愛知県に移住したいと思う理由は何ですか？ (単数回答)

◆愛知県に移住したい理由は、「公共交通や道路が充実しているため」や「都市イメージが良いため」が高くなっています。

○問6で「考えている」、「選択肢の一つとして考えてもよい」を回答した758人の愛知県に移住したいと思う理由について、割合が高い項目は、「公共交通や道路が充実しているため」が25.7%で最も割合が高く、次いで「都市イメージが良いため」が23.9%、「買い物などが便利で生活しやすいため」が21.5%、「環境が良く住みやすいため」が17.4%と続いています。

○「特にない」が21.4%となっています。



図表 7-1 愛知県に移住したい理由

8. 移住後の暮らし方について

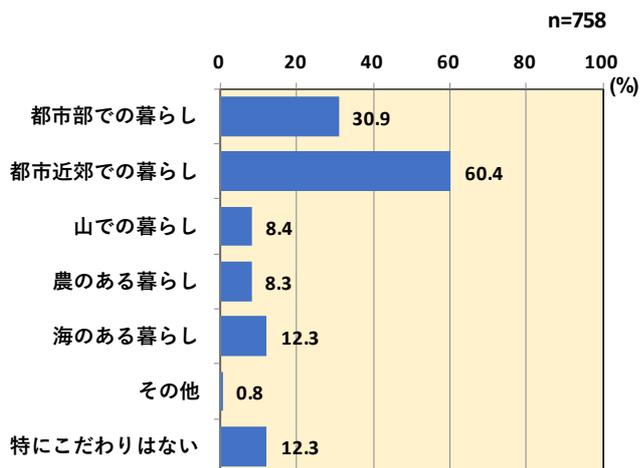
問8 問6で「考えている」、「選択肢の一つとして考えてもよい」と回答した方にお聞きします。

愛知県に移住する場合、どのような暮らしをしてみたいですか？（複数回答）

◆愛知県に移住した場合の希望の暮らし方は、「都市近郊での暮らし」が60.4%と割合が高くなっています。

○問6で「考えている」、「選択肢の一つとして考えてもよい」を回答した758人の愛知県に移住する場合の暮らし方については、「都市近郊での暮らし」が60.4%で最も割合が高く、次いで「都市部での暮らし」が30.9%、「海のある暮らし」が12.3%、「山での暮らし」が8.4%、「農のある暮らし」が8.3%となっています。

○「特にこだわりはない」が12.3%となっています。



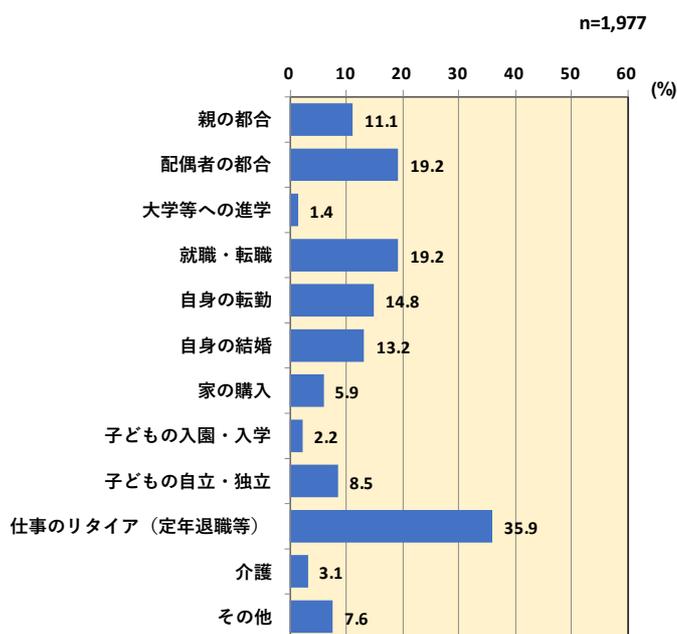
図表 8-1 移住後の暮らし方について

9. 移住のタイミングについて

問9 あなたが移住するタイミングとして想定するものを教えてください（複数回答）

◆愛知県に移住するタイミングについては、「仕事のリタイア（定年退職後）」が35.9%と割合が高くなっています。

○移住するタイミングとしては、「仕事のリタイア（定年退職等）」が35.9%で最も割合が高く、次いで「配偶者の都合」が19.2%、「就職・転職」が19.2%、「自身の転勤」が14.8%、「自身の結婚」が13.2%、「家の購入」が5.9%、「子どもの入園・入学」が2.2%、「子どもの自立・独立」が8.5%、「介護」が3.1%、「その他」が7.6%となっています。



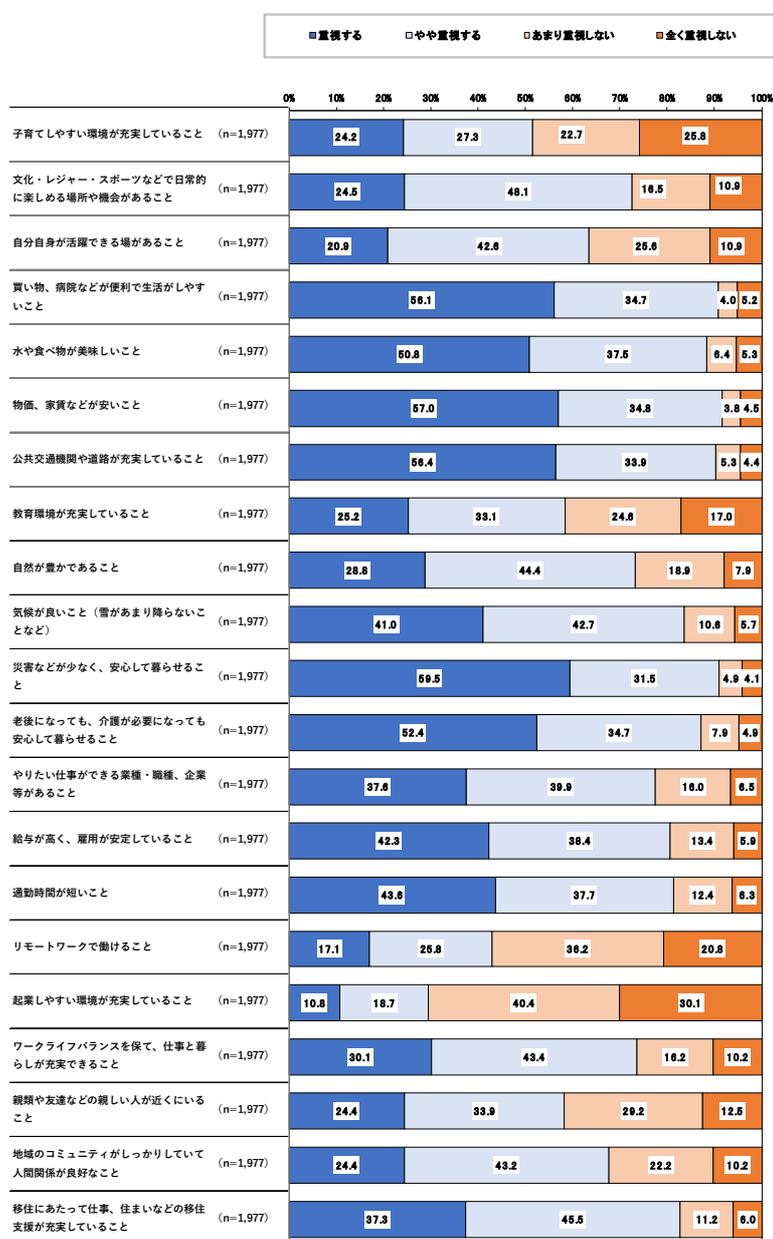
図表 9-1 移住のタイミングについて

10. 今後の居住地を選択する上で重視する条件について

問 10 今後の居住地を選択する上で重視する条件は何ですか？（単数回答）

◆居住地選択で重視する条件は、「物価、家賃などが安いこと」や「災害などが少なく、安心して暮らせること」が割合が高くなっています。

○今後の居住地を選択する上で重視する条件として、1～21の各項目で「重視する」と「やや重視する」を合わせた割合が高い項目は、「物価、家賃などが安いこと」が91.8%で最も割合が高く、次いで「災害などが少なく、安心して暮らせること」（91.0%）、「買い物、病院などが便利で生活がしやすいこと」（90.8%）、「公共交通機関や道路が充実していること」（90.3%）と続いています。



図表 10-1 今後の居住地を選択する上で重視する条件（重視する割合が高い項目）

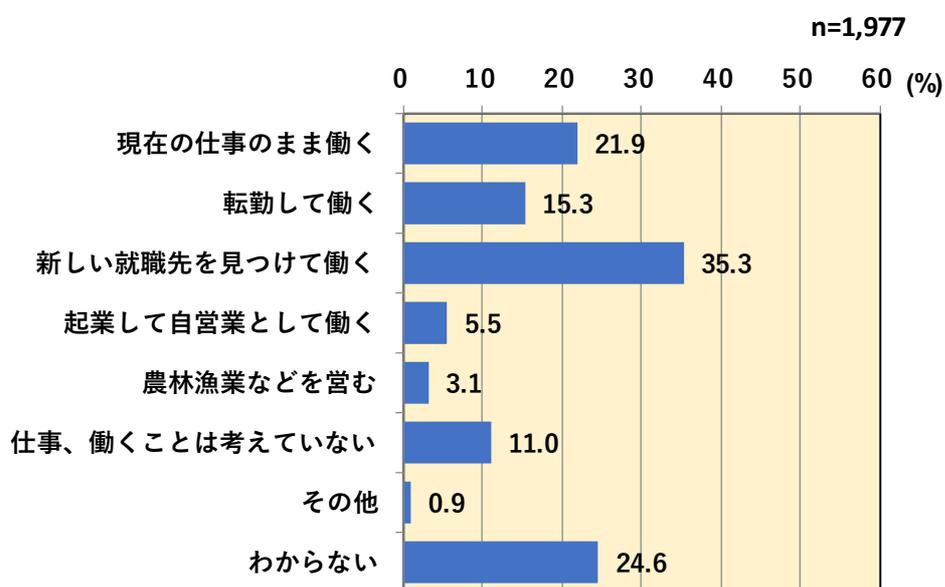
11. 移住後の仕事や働き方について

問 11 移住を考えるにあたって、仕事や働き方をどのように考えますか？ (複数回答)

◆移住した場合の仕事や働き方については「新しい就職先を見つけて働く」が35.3%となっています。

○移住した場合の仕事・働き方については、「新しい就職先を見つけて働く」が35.3%で最も割合が高く、次いで「現在の仕事のまま働く」が21.9%、「転勤して働く」が15.3%、「仕事、働くことは考えていない」が11.0%となっています。

○「わからない」が24.6%となっています。



図表 11-1 移住後の仕事や働き方について

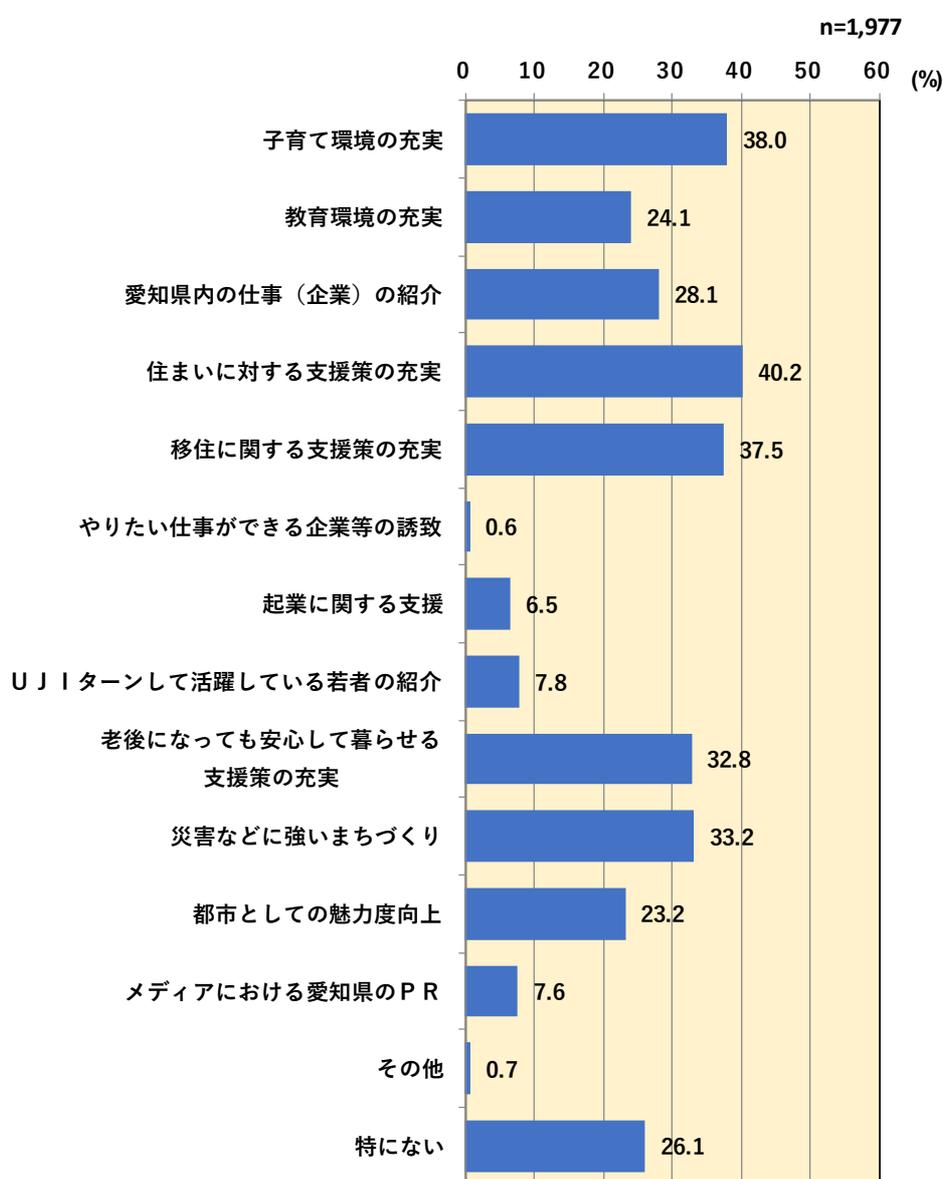
12. 愛知県の人口問題対策について

問 12 愛知県では人口問題対策の取組を進めていますが、どのような取組が重要だと思いますか？ (複数回答)

◆愛知県の人口問題対策として重要な取組は、「住まいに対する支援策の充実」や「移住に関する支援策の充実」、「子育て環境の充実」が割合が高くなっています。

○愛知県の人口問題対策として重要な取組については、「住まいに対する支援策の充実」が40.2%で最も割合が高く、次いで「子育て環境の充実」が38.0%、「移住に関する支援策の充実」が37.5%、「災害に強いまちづくり」が33.2%、「老後になっても安心して暮らせる支援策の充実」が32.8%と続いています。

○「特にない」が26.1%となっています。



図表 12-1 愛知県の人口問題対策として重要な取組

13. 関係人口について

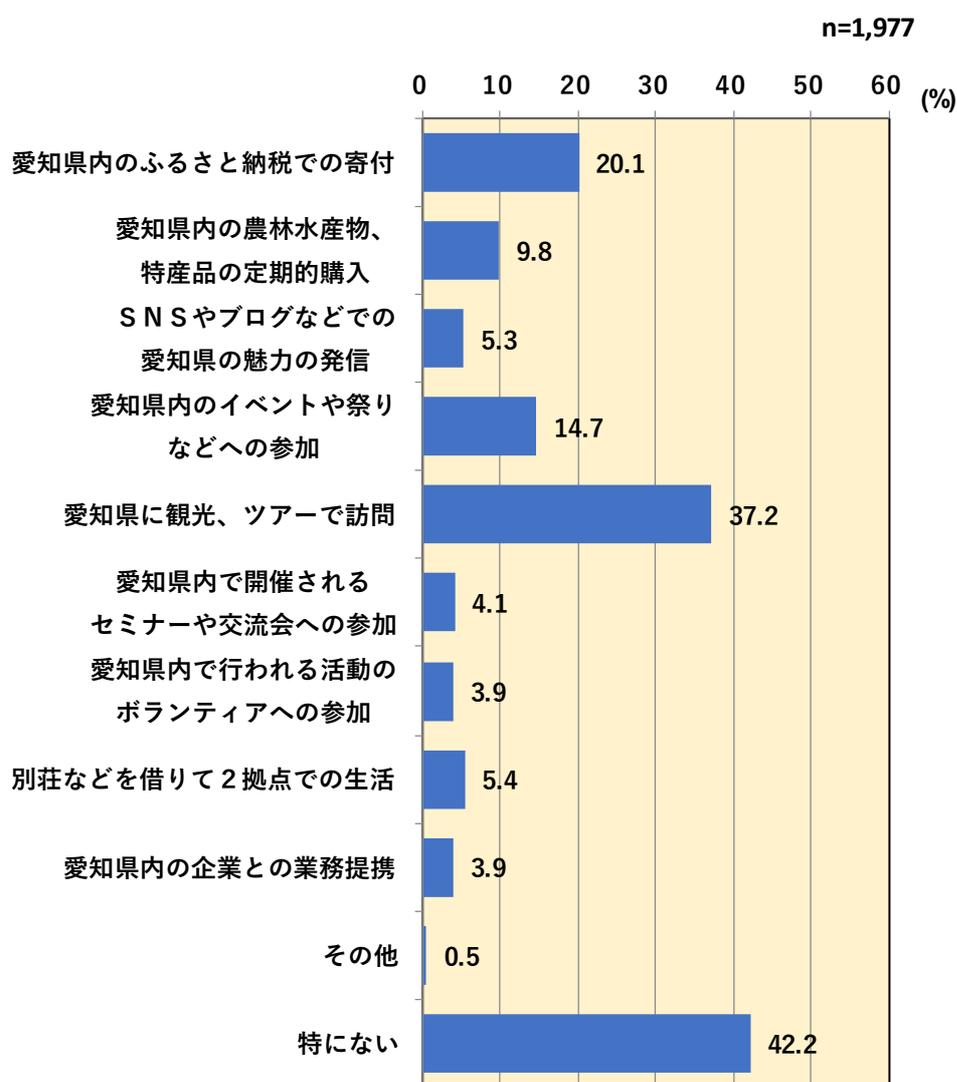
問 13 愛知県では移住される方だけではなく、愛知県との関わりを持っていただける方（関係人口）の獲得に向けて取り組みたいと考えています。

あなたは移住の有無に関わらず、愛知県と、どのような関係を持ちたいと思いますか？
(複数回答)

◆希望する愛知県との関係としては、「愛知県に観光、ツアーで訪問」が37.2%を占めています。

○愛知県との関係については、「愛知県に観光、ツアーで訪問」が37.2%で最も割合が高く、次いで「愛知県内のふるさと納税での寄附」が20.1%、「愛知県内のイベントや祭りなどへの参加」が14.7%、「愛知県内の農林水産物、特産品の定期的購入」が9.8%となっています。

○「特にない」が42.2%となっています。



図表 13-1 愛知県との関係